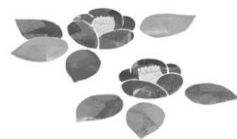


加賀市の財政状況

皆様のご支援によりまして
これからも、引き続き、市政で活動する機会をいただきました。
これまで以上に、気を引き締めて頑張ってまいります！



さて、今月号では、
H25年9月議会に提出されました・・・

[加賀市の財務書類4表]をもとに、考えていきます。

○ 加賀市民1人あたりのバランスシート(連結)結果

(通常、各々の市は、人口や面積等により資産等の規模が異なることから、他市との比較はなかなか困難ですが⇒市民・1人あたりで算出することによって、自分の市の状況が、より解りやすくなります。)

借方	
資産	283万円
(対前年度比 +6万円)	
・学校や道路などの公共資産	
・投資等(基金)	
・市税の未収金も資産に含む	

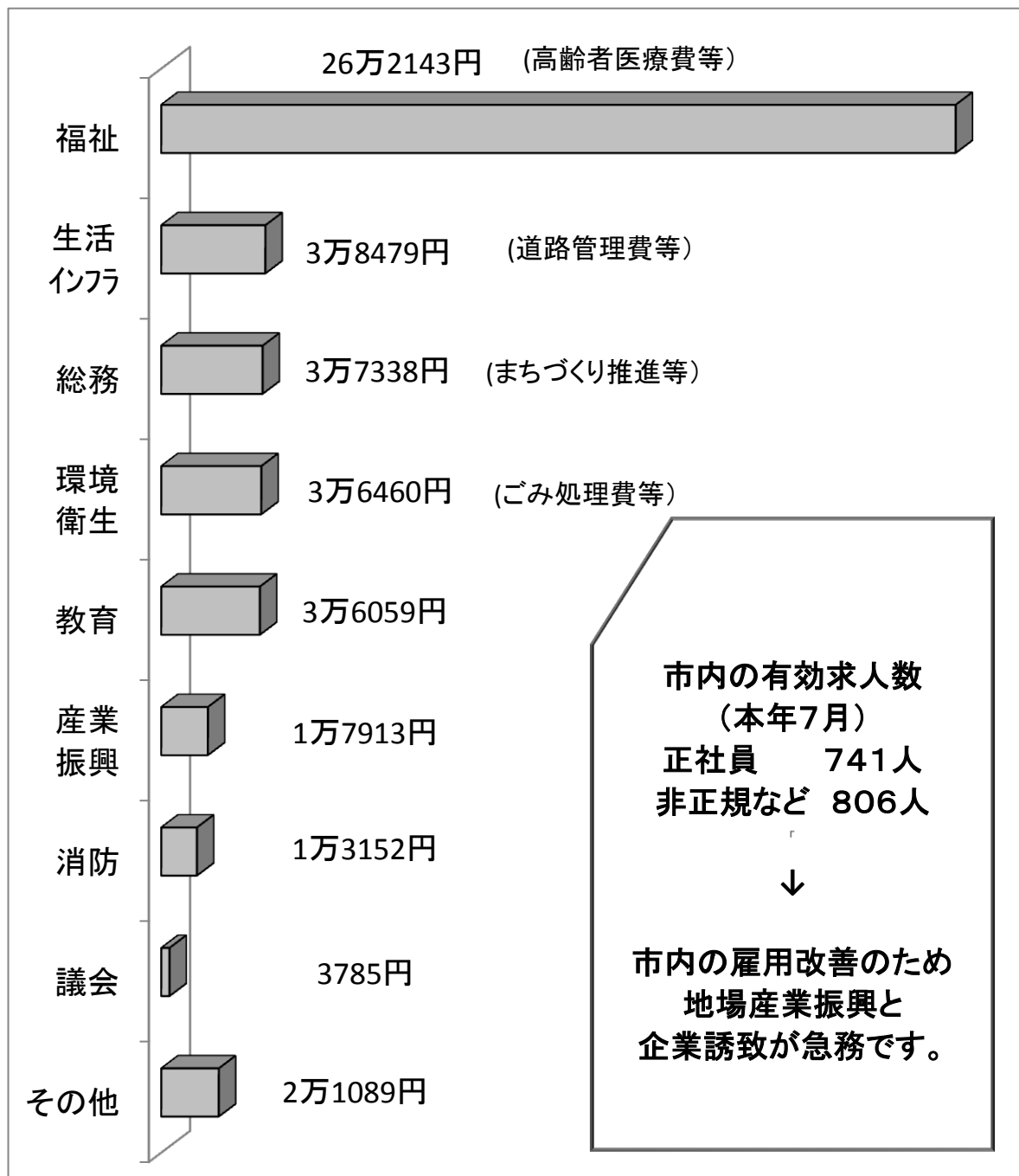
貸方	
負債	121万円
(対前年度比 +4万円)	
純資産	162万円
(対前年度比 +2万円)	
・資産の財源の内、今までの世代が負担した部分	

◎ 実施すべき事業を厳選すると共に、市債(借金)の発行額を抑制して健全な財務状況にしていく努力が必要です。

○ では実際に、加賀市は何にお金をかけているのでしょうか？



加賀市民一人あたりの純経常行政コスト(連結・行政目的別)



- 市全体(連結)でみた場合、何にお金が使われているのか
(連結経常行政コスト)

移転支出的なコスト (社会保障給付費・補助金など)	326億6500万円
物にかかるコスト (物件費・維持補修費など)	133億1300万円
人にかかるコスト (人件費など)	77億1900万円
その他のコスト (支払い利息など)	28億5800万円

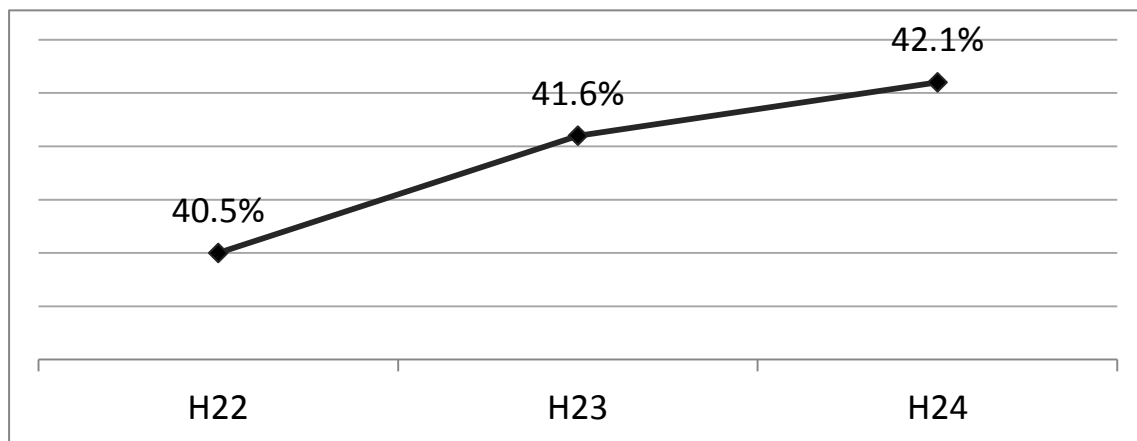
課題1

加賀市の社会資本形成の将来世代負担比率が毎年増加

これは、将来的に返済しなければならない、
今後の世代への負担の割合です！

・人口減少の時代に入っている加賀市で、健全な市づくりのためには、
将来の世代の負担に頼り過ぎている事を改善しなければなりません。

社会資本形成の将来世代負担比率の推移 (連結)



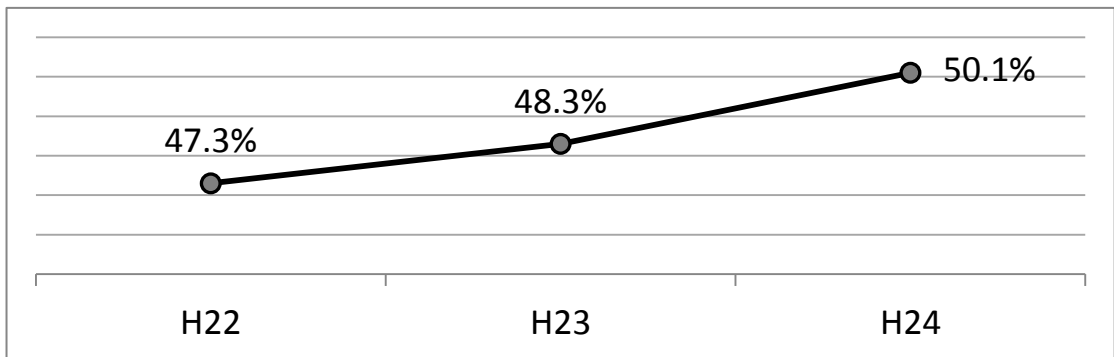
課題2

加賀市が過去につくった施設などが老朽化しています

修繕や複合化など、市民の声をきいて、計画を立てて進めていかなければなりません。

・既存のものをリフォーム・リニューアルし、バリアフリー化していけば、新しい建物をたてるよりも、費用は安くて済みます。

加賀市の資産老朽化比率の推移（連結）



[毎年：悪化—老朽化がすすんでいる]

しかも、これら(老朽化比率の数値)は、資産の平均の数値であり、産業振興施設では、84.3%を超えています。個々の老朽化に、適切に対処していかないと、安全面や財政面で大変なことになります。

人口減少時代に入った現在、新施設建設よりも、市内に287ある公共施設、そして、橋(5m以上の橋梁182橋)や道路を予防修繕し、長寿命化に力を入れるべきです。

限られた財源だからこそ、税金の使い方の選択が必要です。当事者の一人として、皆さんも考えて頂けないでしょうか。

室谷 ひろゆき 議会報告

市役所 加賀市大聖寺南町二41 72-7965(代)
住 所 加賀市山代温泉14の67 77-7839

2013年
11月号
(討議資料)